

平成 28 年度	産業文化部の取り組み実績
	<部の構成> 産業文化政策課、産業振興室商工振興課、産業振興室賑わい交流課、 産業振興室農業振興課、文化生涯学習室

1. 重点施策・事業

(1) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標	<p>老朽化した市民会館に代わり、集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、総合文化施設を整備します。</p> <p>総合文化施設整備計画では平成 31 年度中の開館となっていますが、建設費の高騰対応等により遅れが生じているため、できるだけ早期の整備に向け、取り組みます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>設計業務について、平成 28 年 9 月を目途に基本設計をまとめ、実施設計を進めます。</p> <p>また、総合文化施設の事業用地の買い戻しを行うとともに、施設運営の方針となる「施設運営計画」を策定します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：7,455,107 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>基本設計業務については、施設配置案を作成し、市民や文化団体等の意見聴取も実施し、取りまとめました。平成 29 年度からは実施設計を進め、平成 32 年度内の完成をめざします。また、事業用地の買い戻しを完了し、(仮称)枚方市総合文化芸術センターの施設運営について〔基本方針〕(案)をまとめました。</p> <p>平成 28 年度決算：7,357,612 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 市内中小企業と若年未就職者の雇用マッチング

重点施策・事業 における目標	<p>雇用環境は改善傾向にあるものの求職者の大企業志向は強く、中小企業の人材不足は深刻化しています。一方、早期離職や非正規雇用など安定的雇用に就けていない若年者も相当数見込まれるため、市内中小企業と若年者との雇用マッチングに向けた施策を推進します。</p>
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	市内の中小企業における人材不足の解消と若年者雇用の促進を図るため、求職前段階から就職、さらに就職後の定着支援までを一貫とする産業人材の育成確保支援策を実施します。 平成 28 年度当初予算：7,620 千円
平成 28 年度の 実績	①市内中小企業に対し、若年者の採用に向けたノウハウ等を学ぶ「若年人材採用セミナー」を平成 28 年 9 月 29 日に開催しました。②求職者の意識向上や市内中小企業 PR も含め「枚方市若者就職活動応援セミナー」を平成 29 年 1 月 14 日に開催しました。③市内中小企業と若者求職者のマッチングの場として、合同企業就職面接会「枚方市若者しごとマッチングフェスタ」を平成 29 年 1 月 21 日に開催しました。④③の面接会参加企業に対し企業 PR、情報発信のための「求職者向けプロモーションビデオ」を制作し、ホームページをはじめ、②③の会場にて放映を行いました。⑤③の面接会に参加した企業の人事担当者や入社 3 年までの社員を対象に早期離職防止・定着支援のための「定着支援セミナー」を平成 29 年 3 月 16 日に実施しました。 平成 28 年度決算：5,346 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 新規就農者への支援

重点施策・事業 における目標	若い世代の農業後継者を育成している「都市農業ひらかた道場」の修了者を含め、新規就農者が安定した経営ができるよう、関係機関と連携してサポートする仕組みを構築します。
平成 28 年度の 取り組み	円滑な就農・定着化を図り、将来の担い手となる農業者を育成するために、農業を生業とする新規就農者に対して就農初期における農業経営安定化支援（設備投資等への補助金交付）、就農後のサポート支援（サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援）、農地確保・集積支援（地主への奨励金交付）を実施します。 平成 28 年度当初予算：11,100 千円
平成 28 年度の 実績	都市農業ひらかた道場修了生を含めた認定新規就農者が安定した農業経営をめざせるよう、設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」、認定新規就農者への農地貸借に対し農地所有者に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」、認定新規就農者に知識及び技能を有する者を派遣して支援を行う「新規就農者サポート事業」を開始しました。 また、サポート協議会については、既存の組織である「枚方市農業振興協議会」がその役割を担い、就農後の支援を実施し、新規就農者による組織が設立されました。 平成 28 年度決算：6,262 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(4) 文化芸術振興計画の策定

重点施策・事業 における目標	<p>平成26年4月に施行した枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画の策定に取り組みます。</p> <p>枚方市文化芸術振興審議会において、拠点施設となる総合文化施設の整備状況をふまえ市民の文化芸術活動の機会の充実、障害者等だれもが活発に文化芸術活動を行うことができる環境の整備、文化芸術の振興を支える人材の育成など、条例に規定する基本施策を総合的に推進するための計画を策定します。</p>	
平成28年度の 取り組み	<p>枚方市文化芸術振興審議会において、引き続き、文化芸術振興計画策定に向けた調査・審議を行い、作成した素案について広く市民の意見を聴取し、計画を策定します。</p> <p>平成28年度当初予算：404千円</p>	
平成28年度の 実績	<p>枚方市文化芸術振興審議会において審議を重ね計画案を作成し、市民説明会やアンケート等により市民意見を聴取しました。平成29年2月の審議会からの答申を踏まえ、同年3月に振興計画を策定しました。</p> <p>平成28年度決算：73千円</p>	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

(5) (仮称) 天の川プロジェクトの実施

重点施策・事業 における目標	<p>枚方市と交野市は、七夕伝説ゆかりのまちであることから、両市に共通する「天の川」という地域資源を活用し、まちの魅力を高め多くの観光客を本市に呼び込むことを目的に、京阪電車交野線とその沿線を基軸に各種イベントを開催します。</p>	
平成28年度の 取り組み	<p>京阪交野線の名称を天の川にちなんだ愛称とし、両市の公認キャラクター「ひこぼしくん」「おりひめちゃん」など、七夕をイメージしたラッピング電車を走らせるとともに、沿線でのスタンプラリーや体験型ツアーなどのイベントを実施します。</p> <p>平成28年度当初予算：9,050千円</p>	
平成28年度の 実績	<p>7月2日(土)、天の川ツーリズムのオープニングイベントを枚方市駅と私市駅で実施し、「ひこぼしくん・おりひめちゃん」と「キキ&ララ」がコラボレーションしたラッピング電車を運行。同時に交野線沿線のスポットを巡るスタンプラリーを実施しました。(10月30日まで)</p> <p>また、枚方市と交野市をバスで巡るバスツアーを12月11日(日)、1月22日(日)(一般向け)、2月4日(日)(領事館向け)に実施しました。</p> <p>平成28年度決算：8,752千円</p>	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 本市の文化芸術事業を担っている（公財）枚方市文化国際財団については、総合文化施設の運営主体の検討とあわせて、今後のあり方を検討する。 特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、団体に対して早期の経営プラン策定を促し、その進捗管理を行う。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 2 月に施設運営主体についての考え方を含む（仮称）総合文化芸術センターの施設運営について（基本方針）（案）を取りまとめた。当該基本方針が枚方市文化国際財団の経営に大きく影響することから、同方針を踏まえ、財団の今後のあり方を検討する必要がある。 経営改善に向け、文化観光協会において、平成 28 年 5 月に中期経営計画を策定した。また、新規会員の獲得に向けた個人会員制度の新設など、計画に掲げる取り組み課題の進捗状況について、文書での報告を求めた。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の 2 複合施設（蹉跎・牧野）に導入している指定管理者制度について、導入状況の検証を図った上で、平成 30 年度に蹉跎・牧野を含む複合全 6 施設に指定管理者制度を導入する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 先行導入している 2 施設（さだ・牧野生涯学習市民センター）の状況の検証。 平成 30 年度における複合施設全 6 館への制度導入に向けた庁内協議を実施。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
イベント等の効率的な運営について	年間を通してイベント等の事業が多いため、運営手法や体制を検討し、より効率的な運用に努める。

実績	イベント等について、運営体制等を検討し、関係部局の連携により、効率的な運用に努めた。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
効率的な事務執行について	業務開始時に一日の取り組む事務執行の予定を設定し、業務終了時に達成度を確認することで、目標をもった効率的な事務遂行に努める。	
実績	グループウェアシステムに各自のスケジュールを入力し毎朝の朝礼で共有化を図るとともに、各担当者の業務内容を確認することにより、業務の効率的な遂行に努めた。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆改革・改善サイクル等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

実績	国の交付金を活用し、交野市・民間事業者や大学等と連携して、「天の川ツーリズム」として地域活性化に取り組むとともに、各補助金の見直しを行い、サンセット方式の導入を行いました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力を高めていくとともに、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けた取り組みも促進しながら、業務の円滑な遂行に努めます。

実績	課内にて OJT 等を通じ、コミュニケーション能力の向上に努めました。また、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの取り組みに努めました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブックなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めます。また、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。

実績	地域メディアへの情報提供やプレスリリース、各種団体との意見交換等の場などで、施策の周知に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆枚方宿地区まちづくり協議会主催の活動やイベントについて、枚方宿のにぎわいづくりに資するようホームページや広報を活用し、市民への情報発信に努めます。

実績	枚方宿地区まちづくり協議会の活動について、広報ひらかたで情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】